



4月21日撮影



発行
浮田地区コミュニティ会議
電話&FAX
0198-42-1681

タイトル画説明

春の陽光に明るく
映えるガマズミの
葉とつぼみ。裏山
に咲くヤマブキ、
透明感のある佇ま
いのシュンラン。
絵・文(実)

定例総会 開催される

4月5日、午後2時より、
浮田振興センター研修室に
於いて「浮田地区コミュニ
ティ会議定例総会」が開催
されました。当日は地区内
からの代議員15名のうち、

本人出席11名、委任状4名
により、総会が成立いたし
ました。開催にあたり祝辞
の中で、東和総合支所地域



振興課長から市の人口減少
が課題として挙げられまし
た。「当コミュニティとし
ても、市と連携し魅力ある
地域づくりをしていかなけ
れば」と思いました。その
後、事業報告や事業計画に
ついての審議があり、出席
された皆様の協力により、



賛成多数で承
認され、定例
総会は円滑に
進み、無事終
了しました。
(美)

令和6年度事業報告と決算

地域づくり部 1,089,884

1.自主防災組織支援	109,094	一時避難所にガス炊飯器配布 (中内、太田目、下浮田公民館)
2.地区内の整備支援	346,000	座椅子補助(中内、石宮、太田目、下 浮田)、看板補助(寿沢)、薪ストーブ補 助(島)、発電機補助(浮田集会所)
3.安全と景観対策	187,334	交通危険個所の立木伐採(煙突倶楽 部)、交通安全啓発のぼり旗購入
4.農作物被害防止対策	29,456	動物撃退器補助
5.煙突のある村づくり	418,000	薪利用用具購入補助、 傾斜地・高齢化対策の草刈り機購 入補助(煙突倶楽部)

福祉生活部 727,565

1.高齢者の安心と はつらつ	130,406	ホッとする物(うたごえ)、独居老人訪 問、安心人装束付
2.介護資材等給付	157,989	おむつ補助給付、花咲け卒業祝い
3.除雪支援金交付	10,550	除雪互助支援
4.道路等環境美化	203,085	ごみ拾い周火釜金世帯配布、 カメラ付きゴミ捨て抑止看板設置
5.健康と豊かな食づくり	174,675	おがしーずン研修、レクレーション吹き矢、三 五ハ漬け講習、景観維持活用研修
6.加工工房等生き生き	50,860	ロビンソン教室、なごみから花育、 朝日森の工房備品補助

生涯学習部 374,591

1.浮田塾	161,345	果物づくり、御朱印帳づくり、写経写 仏、星室観察会、竹灯りづくり
2.浮田のお宝発見・発信	85,000	歴史移動講座「安倍責任物語を遡る」
3.スポーツで健康づくり	77,446	G・G大会(夏季、秋季)、夏の八幡平ト レッキング、サマースポーツ大会
4.子ども会活動等支援	50,800	子ども会活動支援、小正月行事補助

共通事業 1,059,714

1.浮田地区若菜まつり	94,380	今年度は開催見送り、イベント用の椅子 購入
2.結いの里便り発行	317,640	結いの里便り第53・54・55・56号発 行、編集委員研修実施
3.Do田舎サマーフェス	338,307	小学生よきこいっつら、浮田神楽、満月 鼓太鼓、三味線、越前獅子太鼓、有 志による屋台6店舗、ともに好評
4.輝け浮田の公民館大賞	176,472	2年目の開催、一般家庭にも波及し、 新・冬の風物詩となりつつある
5.諸団体活動助成	125,000	専攻域保存会看板補助、俳協浮田支部用具 補助
6.緊急対応事業費	7,915	疫病防止のすずめ

おめでとう！ ピカピカの一年生

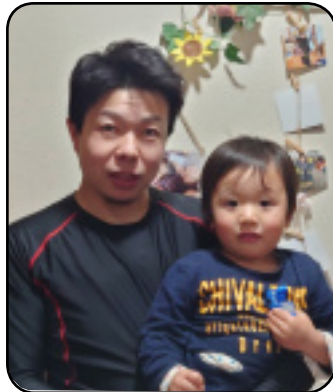
大上湊大君(中内)

浮田地区で一人だけの一年生です。姉兄3人スクールバスに揃って乗り通学できる。それが楽しい事。
○特技は…三点倒立ができる事(すごい!!)
○図工、工作が好きでお父さんとテーブルを作りました。

(上手に出来ていました。)
(二三)

あの人 この人 小原 清貴さん

きよたか
清貴さん(毒沢)は39歳。
お仕事は大工さんというこ



煙突倶楽部 全員会議



とで忙しい日々を送っています。

狩猟資格を取得されたという事で、お話を伺いました。

きっかけは田んぼへ鹿に入られたことに頭を悩ませていたとき、最初は畏れだけと思っていたものが、処理も必要になることから、タイミングが良く狩猟の資格を取れる時期に重なった事で関わるもの全て取得しよ

うとなつたそうです。

当地域は山間部で動物たちとの共存が必須な場所ではありますが、私たちが栽培している食物には手を出して欲しくないと皆さん思っています。

清貴さんを始め、各地域には狩猟資格を持つ方が居ますので、ご相談されては如何でしょうか？
(賢)

4月24日に、煙突倶楽部全員会議の役員改選において代表となりました。
6年度は会員31名で年間20日間の活動でした。主に市整備業務委託作業(草刈)や交通危険箇所(立木伐採)作業、ピザ窯の活用などです。



三五八の すすめ

地区内に麹づくり、またその加工を行い活動する浮田・納豆工房があります。
2月18日は、工房代表の下明久美さんを講師に、発酵調味料「三五八漬けの素」を作り、三五八漬けの良さや美味しい食べ方を学びました。7人の参加者からは色々な質問があり、講師さんには一つ一つ丁寧に丁寧に頂きました。魚や肉を漬ける食べ方もあるそうです。試食した三五八漬けは、サラダ感覚でパクパク食べてまう美味しさでした。(多)



今年度もほぼ同じ活動の他、地域づくり部の煙突のある村づくり事業に参画し、薪ステーション事業でビニールハウスを建て、薪を販売する計画です。
地域の木質資源利用や山林管理促進になればと思っています。
7年度も宜しく願いいたします。
代表 昆正

共同アンテナに感謝

毒次テレビ共同受信施設組合は3月1日に臨時総会を開き、今年度をもつて共同受信施設を廃止する決定をしました。

平成14年7月に設置された共同受信施設の撤去に伴い、今後は各戸に個別にアンテナを立てての受信となります。

撤去にあたり各戸に設置するアンテナで受信可能か専門業者が確認し、全戸可能なことから4月にはアンテナの個別設置が進められました。

この工事は4月21日に全戸完了したということです。現在は共同受信施設からの電波ではなく、個別に設置されたアンテナの電波でテレビを観ています。

共同受信施設は平成14年の設置から20年が経過し、修理部品の調達が難しいこと、ケーブル等の耐用年数が経過していることから、

これ以上の稼働は難しいと判断したということです。

この共同受信施設は、設置後アナログからデジタルに移行し、B S放送も受信するものでしたが、B Sは機器故障により受信を取りやめ、個別にパラボラアンテナを設置する対応を取って現在に至ります。

撤去には相当の費用が見込まれることから、浮田地区の市政懇談会でも取りあげられ、花巻市などに助成の要望をしてきました。

市では、令和6年度からテレビ共同受信施設の「解体撤去」及び「テレビ電波の受信調査」を対象にした補助制度を創設しました。

補助内容は、
解体撤去に関し



ては、一戸3万5千円の負担を求め、残りの費用を市が負担する内容です。また受信調査は費用の半額を補助するものです。

現在市内には53のテレビ
共同受信施設組合（花巻10、
大迫15、石鳥谷6、東和22）
があります。

組合は既に補助申請を終えており、本格的な撤去作業と解散総会を経て20年以上にわたる長い活躍を終えることになりました。

長年にわたりテレビ電波の受信という恩恵を得てきたことに感謝です。（浩）

リレー
エッセー

岩手に
暮らす

14年間海上自衛隊に勤務後、もっと自由な時間を持ちたいと感じ、民間商船に転職しました。自衛隊で培ったリーダーシップや冷静な判断力は、現場でも大いに役立ち、現在は甲板長として作業指揮や安全管理に取り組んでいます。

転職当初は不安もありましたが、今は自分のペースで働けることに大きな満足感を得ています。転職は逃げではなく、自分らしく働くための前向きな一歩でした。

結婚後は「子育ては地元岩手県でしたい」と考え、東和町に中古の一軒家を購入。自然いっぱい環境で、今年末つ子が東和小学校に入学し、家族みんなで毎日にぎやかに成長しています。

(中内
大上おおかみ
晃央てるお)

ゆるゆると

カントリーヘッジ
(羊の生垣)

4月末、ウコギの新芽を収穫し、ウコギご飯をたのしむ。待ち遠しかった春は温かい日が続かず、朝晩はストーブを焚くほどの寒さ。草に追われ気忙しく感じるいつもの春と違い、今年は草の伸びもゆっくりで、草地の熊笹を鋏で切る作業も落ち着いてできる。それぞれの植物にじっくり対峙できている気がする。

草地の牧草の伸びは羊にとつて主食問題。秋に蒔いた牧草の種が芽吹き、ゆつくりだけれど確実に伸び、羊と移住して19年、ようやく牧草地らしく見えてきた。羊が桑の木の根元に座り反芻する風景に見惚れる。

この風景をつくつてきたのは、自然の力。太陽や風や雨雪とこの地に暮らす生きもの：草木、鳥や虫などいろんな生きものと羊、それに微力ながら私も含む。自然界のなかで生かされていることをただ実感するこの春。

（山本実紀）

各部会より(事業の目玉)

定例総会後、各部会事業もスタートを切りました。新部会長と事業を紹介します。

【地域づくり部】

平野敬部長(毒沢)

①「自主防災活動支援」

②「安全と景観対策」道路へのポイ捨て防止カメラ設置を含む

③「農作物獣害防止対策」

④「煙突のある村づくり」

⑤「運転免許自主返納支援」

今年度から免許証を自主返納しハンドル型電動車いすなどを購入しようとする方へ補助

⑥「福祉生活部」

高橋愛子部長(上浮田)

⑦「浮田塾の開催」

⑧「浮田のお宝発見・発信」

⑨「スポーツで健康づくり」

⑩「地区サロン等整備支援」

⑪「子ども会活動等支援」

⑫「共通事業」

⑬「Do田舎サマーフェス」

⑭「浮田地区芸農まつり」

⑮「結いの里便り発行」

⑯「輝け!オラホの公民館大賞」ほか

(輝)

⑰「安心生活支援」介護度

⑱「高齢者の安心とはつら

つ支援」安心入院セットは

昨年度で終了

⑲「安心生活支援」介護度

⑳「安心生活支援」介護度

㉑「安心生活支援」介護度

㉒「安心生活支援」介護度

㉓「安心生活支援」介護度

事務局だより

「遊報」

●アンテナ電波測定器を購入しました。

浮田地区コミュニティ会議では各テレビ組合の解散に伴い心配される受信状況把握のため、テレビの地デジ、BSなどの「レベルチェッカー」を購入しました。この機械はテレビ組合への貸し出しとします。また、調べてみたい方は各テレビ組合へお声がけください。

●安否確認タオル配布します。

この黄色いタオルは災害時に各家の安否確認に役立つことを目的に配布するものですので、災害発生時には玄関に掛けて家人の無事を知らせていただきたいです。ぜひ、玄関の片隅に常備してください。

●ついでの一言。農家をやっているのと昔からの年中行事に稲作への願いが伝わってきます。1月15日は田植えです。その前の11日には肥背負(コエシヨイ)をしま

編集後記

殺風景だった浮田の里も花が咲き、芽吹き、萌黄色から立夏へと爽やかな季節に移りました。ただ農家さんだけは、春耕、田植えと毎日てんてこ舞いです。「結いの里便り」は、今年度も地域の話題を読み易く、タイムリーに発行します。又、「人シリーズ」「リレーエッセイ」は定期化を目指すしました。皆さんの大きなお力をお貸し下さいます。

(辰)

編集委員長

千田 浩志(毒沢)

編集長

山本 実紀(毒沢)

編集委員

山口 友恵(宮田)

千葉 三恵(中内)

多田 辰雄(上浮田)

小田島賢志(下浮田)

渡辺 郁美(中内)

竹田美由紀(宮田)

題字

千葉 稔

(下浮田)

事務局

藤井 輝雄(中内)

小田島多賀子(下浮田)